

とよなか

(部内資料)

教え子を再び戦場に送るな！ 2018年7月11日発行NO. 592

子ども達の豊か
な成長・発達の
ために皆で力を
合わせましょう！

ノーモア・ヒロシマ ノーモア・ナガサキ ノーモア・ヒバクシャ ノーモア・ウォー 核兵器のない世界のために！



写真上：全国通し行進者、府内通し行進者と参加者
写真下：豊中市役所前での集会



7月7日 大雨の中、
豊中市役所から兵庫へハトントンタッチ

7月7日。毎年、七夕のこの日は「国民平和大行進」が豊中から池田、そして、兵庫の川西にバトンをつなぐ日となっていました。今年も警報が出されている中で、豊中も警報が出されている中で、豊中市役所前出発集会となりました。市長・市議会議員さんからのメッセージが紹介され、大阪府内のコースを連日行進している通し行進者、そして東京から歩き続けている通し行進者から核兵器をなくすための想いを語られました。

平和行進に参加して

土曜日となった7月7日。久しぶりに平和行進に参加することができました。警報が発令され大雨が降る中、豊中市役所から池田市役所まで核兵器をなくそう！戦争をしない！の想いで歩きました。昨年、7月7日に国連で核兵器禁止条約が加盟122の賛成で採択されました。これは被爆者の声とともに「核兵器廃絶を！」訴えてきたねばり強い運動が世界を動かしたといえるものです。「あきらめない！」森友学園の小学校開校をストップさせた経験からも、核兵器をなくすまで声をあげつづけていくことが大切です。

(委員長 三輪)

核兵器のない世界、非核の日本を！
国民平和大行進 2018

世界にも大きな動きが！

昨年、2017年。国連で核兵器禁止条約が採択。また、ノーベル平和賞に I C A N (核兵器廃絶国際キャンペーン) が受賞。核保有国や大国は核兵器の保有に固執していますが、世界の人々は「核兵器をなくそう！」という願いで共通しています。

国民平和大行進とは！?

1958年 今から60年前から、一人の被爆者が被爆地広島から原水爆禁止世界大会が開催される東京に向けて歩き始めました。たった一人で歩き出した1千kmの行進が市民の共感を広げ、数十万人が行進に参加するものとなりました。

それ以来、雨の日も風の日も、全国でとりくまれるようになりました。

豊中のコースは5月6日 東京・夢の島を出発し、8月4日に広島に着するコースとなっています。

学校統廃合・小中一貫校計画を見直して

豊中市長内新市長 岩元新教育長に要望

全教豊中教組も加わる
庄内地域学校統廃合を考
える会と学校統廃合&小
中一貫校を考えるママの
会とよながが7月2日
に長内豊中新市長と岩元
新教育長に要望書を提出
し、懇談をおこないまし
た。懇談には市教委から
も5名が出席しました。

豊中市中で

35人学級をすすめる！

長内新市長は5月15日
の初登庁の際に記者会見
で市内35人学級をすすめ
ることを表明しました。
わたしたちは、市内35
人学級がすすむように市

長を応援します。

主張は平行線

学校統廃合・小中一貫
校については、残念なが
らお互いの主張は平行で
した。

市長や教育委員会は
「庄内の子どもたちのた
め」の計画であり、学校
統廃合することが目的で
ないと主張しました。

考える会は全国で千名
を超える小中一貫校は全
国に数えるほどしかない
こと。また、市の計画を
すすめる「北校開校準備
委員会」の場で、地域の
方からはつきりとこの
(統廃合)計画が反対と
意見表明されているなど
紹介しました。

参加したママからは、
保護者や地域にすむ立場
から小規模な目の行き届
く学校をつぶさないでほ
しい。学童(放課後子ど
もクラブ)が遠くなるこ
と。35人学級にすれば、
ほとんどの学校でクラス
替えが可能であり統廃合
する必要がないことを話
しました。

市長との懇談後、ママ
たちは、まだまだすつき
りしないことを教育委員
会に行つて、直接担当者
に疑問や質問を投げかけ
ました。

問題・課題は 解決しない！

- ・狭い敷地(運動場)
- ・広い校区
- ・大規模な学校
- ・大震災時の地域の避難所

教育委員会は、「魅力
ある学校」づくりと9
年間の一貫した指導がで
きると考えています。
しかし、実際に学校づ
くりを進めていくのは、
そこに働く教職員になり
ます。

東京・品川では豊中で
計画されている同規模の
小中一貫校がつくられ、
他の学校よりも教職員が
長時間労働であることが
明らかになっています。
また、兵庫で昨年5月に
いじめ自殺をしたことに
ついて、第三者委員会が
学校がいじめを見逃した
要因の一つに学校統廃合
による教職員の多忙をあ
げています。
文科省も大規模な学校
における課題をあげてい
ます。

庄内地域学校統廃合を考える会が 市長に提出した要望内容

◎「魅力ある学校」づくりとしてすす
めている学校統廃合、小中一貫校を
建設する市の計画を見直してください。

- ・豊中市として35人学級をすすめてく
ださい。
- ・子どもたち一人ひとりに目の行き届
く、今の小規模な学校を残してくだ
さい。
- ・地元、地域、関係者の方々の声をもっ
とていねいに聞いてください。
- ・今度の地震をふまえ、防災・安全・
安心の観点から現在の計画を見直し
てください。



計画当該校に現在2人の子どもを通わせる保護者からの声

全国で広がる学校統廃合。この豊中市庄内地域では小中学校の統廃合、義務教育学校にするという計画が進められています。市が決定したことだから仕方ない。本当にそれでいいのでしょうか？どんな計画が進められているのか、どれだけの人が納得して「魅力ある学校」計画と感じているのでしょうか？

1000人超の小中一貫校って想像できますか？子供達や保護者だけの問題ではなく、教員の方、地域住民の方、地域で働く方、みんなに関わる事だと思います。

庄内の子をどうにかしてあげたい。?????

学力低下問題。

さまざまな生活環境問題。

えっっっ？
庄内の子達かわいそうですか！？

小規模であるからこそ、他学年との交流もあり、上級生が下級生に優しく、また、たくましく見える存在、下級生はそんな上級生の姿を見て自然とこんな風になりたい等、思える環境な

のでは？

・友達関係のトラブルがあったら、クラス替えで解決できる？

大勢になりクラス替えができるからって解決できる問題ではないのでは？

小1から中3（9年生）まで同じ学校。何かのきっかけで学校に行くのがしんどくなった時9年間同じ学校に通うの余計つらくないですか？

スマホを所持し始める年齢が年々早まっているように思える現代。上級生を見て「早く欲しい」と言う子も増えるのでは？便利かも知れないけど、トラブルは増えるだろうなあ。

親の経済的な負担も大きくなるし。

・学力低下問題。

1000人超の学校にして解決できますか？今の学校でも充分、いろんな先生方が、熱心に関わり指導して頂いてると思います。

最近塾に通って当たり前のような時代。学校での勉強がしんどいと感じる子が塾に行きたいとは思えないし、経済的な理由で行けない子もいると思う。学力の差がついてしまうのは、どの地域にだってあるのでは？

先生方、こんな大規模な小中一貫校になって、子供達の学力「向上させます」っていう自信ありますか？

先生方一人一人にもご自身の家庭があります。

負担増えませんか？

大丈夫ですか？

働き続けられますか？

・少人数の規模で義務教育を修了したら、社会に出たとき大変？大勢の環境、いろんな人達や環境に馴染みにくくなる？逆だと思います。

小一の子がいきなり1000人を超える環境に入って、どれだけの子が自分の思いを伝え、友達や先生との人間関係・信頼関係を築けるでしょうか？

小規模だからこそ、ひとりひとりが活躍する場を築け、先生からも子供達に目が行き届きやすく、子供同士のトラブルにも気づきやすいのでは？

行事ごとにおいても、今はひとりひとりの役割、活躍する場があります。こんな大規模学校の計画、発表会や運動会もどうするんでしょう？

2学年ずつとか？そうなるのかえって他学年との交流の場も減りますよね？

そして、この計画、運動場に南部コラボセンター（公民館などを移動させる予定）を建設することで、「義務教育学校等の施設国庫負担の法律」で定められる基準の半分程度にしかないらしい！

窮屈な環境の学校を作るなんて、ありえないですよ。廃校地域の子供達、低学年では通学に40分以上かかります。

重いランドセルを毎日背負って通学だけで疲れないでしょうか？

学童からの帰りも冬場は、家に着くまでに随分暗くなりますよね？登校時間、トラックや福祉施設の送迎車などの交通量も多い町中の通学路。通学路の安全性は大丈夫でしょうか？

・コミュニティは崩さない本当ですか？

学校は地域コミュニティの核ですよ？

現在、小学校区ごとにさまざまな地域の取り組みがあります。どうやって継続できるでしょう？防災対応、大丈夫ですか？